平成２５年度 ＩＳＯ/ＴＣ４６/ＳＣ１１国内委員会第１回委員会

議事録

１ 日 時 ： 平成２５年 ７月３１日（水）１０：００～１２：２０

２ 場 所 ： 文京シビックセンター５階 区民会議室 会議室 B

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ３ | 出席者 | ： | 委 員 | 保坂 | 裕興 | 学習院大学（SC11 リーダ） |
|  | | | | 小島 | 博之 | (特)行政文書管理改善機構 |
| 西川 | 康男 | ARMA International 東京支部 |
| 寺下 | 陽介 | 東芝ソリューション(株) |
| 楢林 | 幸一 | (社)日本画像情報マネジメント協会 |
| 原田 | 久義 | 国立国会図書館 |

長谷川 英重 OMG アンバセダ（TC171 リエゾン）

中島 康比古 国立公文書館

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 黒田 | 裕芳 | 株式会社リコー |
| 宮澤 | 彰 | 国立情報学研究所(欠席) |
| 関係者 | 亀山 | 孝広 | 経済産業省（欠席） |
| オブザーバ | 木元 | 和宏 | 一般財団法人日本規格協会 |
| 事務局 | 光富 | 健一 | 一般社団法人情報科学技術協会 |
| 事務局 | 鈴木 | 吉之 | 一般社団法人情報科学技術協会（欠席） |

(敬称略・順不同)

４ 配布資料 ： 平成２５年度第１回 ISO/TC46/SC11 国内委員会開催案内

平成２５年度 ISO/TC46/SC11 国内委員会 第３回委員会議事録

（資料１）平成２５年度実施計画

（資料２）平成２５年度の委員会構成（案）

（資料３）平成２５年度 ISO/TC46/SC11 投票報告

（資料４）２０１３年 SC11 パリ総会報告（別紙を含む）

５ 議 事 ： 事務局より配布資料の確認を行い、保坂リーダにより議事を進行

5-1) 委員紹介 自己紹介を行った。

5-2) 前回議事録の確認 配布資料をもとに確認し、承認された。

5-3) 平成２５年度 ISO/TC46/SC11 国内委員会について 資料１及び資料２をもとに、平成２５年度実施計画書及び委員会構成について確認し、承認された。

5-4) 平成２５年度 ISO/TC46/SC11 投票報告 保坂リーダから資料３をもとに、５件とも賛成／承認する投票を行ったことが報告され、承認され

た。

5-5) 平成２５年度 ISO/TC46/SC11 審議案件について 当日時点での審議案件なし。

5-6I)SO/TC46/SC11 総会（パリ）状況報告

保坂リーダより資料４「2013 年 SC11 パリ総会報告」及び別紙「第 29 回 ISO/TC46/SC11

『アーカイブズ／記録管理』総会決議録」をもとに報告がなされた。以下、質疑応答により明らかに

なった点を補足する。

・ＷＧ１３は ISO15489 定期見直しを担当するＷＧである。

・参加者は約５０名。

・旅費等について、今回は公的費用が使われなかった。今後は公的費用負担が望ましい。

・ISO30300-MSR シリーズの決議内容は決議１～６を参照。

・決議３の ISO30302- MSR の実施ガイドラインは最終的なものではなく、DIS 投票に向けた

準備段階のものである。ISO 化は 2015 年の見込みである。

・WG12 解散（上記報告④）は、TR（技術報告書）を発行したことによる。

5-7) その他

①本年度より議事録作成は委員が行うこととされた。毎回２人ずつの持ち回りと

することとした（実際の順序は委員会冒頭）。

②ISO/TC サーバに掲載される N 文書等については、事務局が共用ファイルサーバ（

に保存・蓄積し、委員が利用できるようにする。

③これに関する具体的利用方法及びメーリングリストに登録されたアドレスについて確認を行い、

事務局から各委員に送付することとする。

④前回議事録の議事 5-2④公文書管理法との関係等について質疑応答が行われ、次のように話し

合った。

・ISO15489-1 の改定や ISO30300 等の IS の JIS 化に関する進捗状況を確認・検討したい。(楢

林委員)

・公文書管理法と ISO30300 及び同 30301 の整合性に関し、報告資料の提出はな

かった。

・この委員会で公文書管理法との関係を検討し、METIとの情報交換及び打ち合わせを着

実に進める必要がある。

・このため、特に ISO30300 及び同 30301 の日本語化が必要となる。下訳作成の外注は困難なの

で、委員が分担して日本語資料を作成する。委員会合意。

・日本語資料作成作業の分担は、保坂リーダがメーリングリストにより通知する。

・JIS 化については状況が変化してきているので、慎重に進める必要がある。目標自体を再検討

することも必要ではないかとの意見があった。一方、ISO15489 は様々な分野でますます重要

な役割を果たしているのであり、日本語で利用できる態勢を作り出し、それを堅持していくこ

とが重要であるとの意見が複数出された。

・日本語資料の作成作業及び METIとの連絡調整等は、保坂リーダが担当となって進め

ることとした。